

学習指導案の形式（例） 中学校理科

第○学年○組 理科学習指導案

令和○年○月○日（○）第○校時 ○○教室 指導者 ○○ ○○

1 単元名 ○○○○○○○○

◇中学校学習指導要領に示す理科の「第2 各学年の目標及び内容 2内容」の項目を「内容のまとめ（＝大項目）」という。中学校理科では、中項目ごとに学習指導案を作成することが考えられる。つまり、「身近な物理現象」という内容のまとめでは「光と音」を単元とすることが考えられる。

例

- * 大項目 (1) 身近な物理現象
- * 中項目 (7) 光と音
- * 小項目
 - ア 光の反射・屈折
 - イ 凸レンズの働き
 - ウ 音の性質

2 単元の目標

◇学習指導要領の「内容のまとめ」の記載事項等を踏まえて設定する。

- 例 (1) 「知識及び技能」に関する目標（例：～理解する。～身に付けること。等）
 (2) 「思考力、判断力、表現力等」に関する目標（例：～表現すること。等）
 (3) 「学びに向かう力、人間性等」に関する目標（例：～態度を養うこと。等）

3 単元の評価規準

- ◇評価規準の設定に当たっては、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」、「新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習評価」等を参考にして適切に設定する。
 ◇「知識・技能」は「内容のまとめごとの評価規準（例）」を基に、該当の中項目名や小項目名を記載し、各分野の評価の観点の趣旨を踏まえて、評価規準を作成する。
 ◇「思考・判断・表現」は「内容のまとめごとの評価規準（例）」を基に、各分野の評価の観点の趣旨を踏まえて、評価規準を作成する。
 ◇「主体的に学習に取り組む態度」は「内容のまとめごとの評価規準（例）」を基に作成する。

例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(中項目名)に関する事物・現象を日常生活や社会と関連付けながら、(小項目名)についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。等	(中項目名)について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、(小項目名)の規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。等	(中項目名)に関する事物現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。等

◇「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」の巻末資料として中学校理科における「中項目毎の評価規準（例）」が示されているが、単元の評価規準として参考にすることができる。

4 指導と評価の計画（全○時間）

次	時	ねらい・学習活動	重点	記録	評価規準及び評価方法
一	1	◇生徒の立場で書く。	思		○○に着目して、問題を見いだして課題を設定している。【記述分析】
	2	◇「重点」には、その時間に生徒の学習状況を重点的に評価する観点を書く。 ◇「知」は「知識・技能」、「思」は「思考・判断・表現」、「態」は「主体的に学習に取り組む態度」を示している。	知		○○について理解している。【記述分析】
二			思	○	○○の特徴を見いだして表現している。【記述分析、行動観察】
			態		◇「記録」の欄の「○」印は、評価規準に照らして、生徒全員の学習状況を記録に残す場面として示している。空欄は評価を行わないことではなく、形成的な評価に重点を置いて、生徒の活動を見取り、次の指導に生かしたり、生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況などについて積極的に個人内評価を行ったりする。
三		◇記録に残す評価の設定は、単元に応じて適切に設定する。定期考査等の活用も考えられる	態		

5 指導上の立場

- 単元観
- 生徒観
- 指導観
- 研究主題との関連
- 全国及び県学力・学習状況調査との関連

◇指導者の立場で書く。

- ◇単元観…学習指導要領の記述から「単元を通して身に付けたい力」について整理すると共に、「単元の系統性」（何を学んできたのか、今後どんな学びにつながるのか）も併せて整理する。その際、教科書教材や資料集等の分析を行い、その単元の難しさを把握し、生徒の学習課題を把握して書く。
- ◇生徒観…単元や本時に関する「既習事項の定着状況」と「学習に対する学級の課題」を生徒の実態として記述し、整理する。
- ◇指導観…単元観と生徒観で記述した「学習上の課題」を克服するための指導者の意図や思いを「学習指導のためのアプローチ」として具体的な指導・支援の手立てを書く。これが研究授業の「研究仮説」や「提案性」につながる。
- ◇研究主題との関連…研究主題を簡潔に記述し、研究主題と授業における指導方法の工夫等との関連等を書く。
- ◇全国及び県学力・学習状況調査との関連…現状と課題について記述すると共に、本単元で意図する事項について書く。

6 本時案（第○次 第○時）

(1) 本時の目標

- ◇「2 単元の目標」「4 指導と評価の計画」との整合を図る。
- ◇本時の評価規準との整合を図る。
- ◇生徒の立場で書く。

(2) 展 開

学習活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
1	○	
◇生徒の立場で書く。	◇指導者の立場で書く。	◇生徒の立場で書く。
2 (1)	<p>めあて</p> <p>◇生徒の目的意識のまとまりを踏まえて、何をどのように学ぶのかを明確にして本時のめあてを書く。</p>	◇単元を通して資質・能力を育成する力を踏まえて、本時の評価規準を具体的に表現する。◇評価の場面は1、2箇所を絞る。◇評価規準に合わせて、評価の観点・項目を明記する。◇評価方法を具体的に書く。
◇活動に順序がある場合は、(1)(2)で書く。		
(2)	<p>◇学習活動に沿って、指導・支援の意図、指導方法の工夫等について留意すべきことを具体的に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に学習を進めるための手だて ・生徒が対話的に学習を進めるための手だて ・生徒が学習を深めるための手だて ・生徒一人一人の学習状況に応じた手だて ・予想される生徒の反応 ・資料提示のタイミングや方法 <p>◇効果的な学習方法や学習形態の工夫・準備物等</p> <p>◇学習活動と教師の指導・支援との関わりを対応させて書く。</p> <p>◇「努力を要する」状況（C）と判断される生徒への手だての例を示す。</p>	◇例：～している。[評価の観点]（評価方法）
3	<p>◇導入・展開・終末の学習過程に沿って、生徒の学習活動を具体的に書く。</p> <p>◇授業展開については、「岡山型学習指導のスタンダード（授業5）」を参考にする。</p>	◇評価方法の例 ・発言の内容 ・行動の観察 ・ノート、ワークシートの記述等
◇まとめ	<p>◇本時に何を学んだのかが分かるように整理し、本時のめあてと対応したまとめを書く。</p>	
5	○	◇学習の成果が自覚できる振り返りの視点を明確にして書く。振り返りの視点は、『岡山型学習指導のスタンダード【増補版】授業改善「一歩先へ！」』を参考にする。

◎「おおむね満足できる」状況（B）と判断する生徒の姿の例 例：～している。

- ◇本時の評価規準に照らして、本時でねらう生徒の姿について、想定される生徒の発言や記述例等を取り入れながら具体的に書く。なお、ここに挙げる具体的な生徒の姿が、どのような指導によって表れるのか等、指導と評価のつながりを意識して書く。

(3) 準備物

例：ビーカー、温度計、金網

- ◇ワークシート、実験プリント、その他実験器具等必要な準備物を書く。